

このたびは、アイコム製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

UT-106は、IC-PCR1000/IC-706MKII用のDSPユニットです。

UT-106を装着することにより、受信時のノイズ・混信除去に威力を発揮します。

取り付けおよび運用に際しては、この取扱説明書をよくお読みください。

■IC-706MKIIシリーズ

はじめに

UT-106はDSP(Digital Signal Processor)によるデジタル信号処理により、受信時のノイズ・混信除去などに威力を発揮します。DSPユニットを装着すると、次の機能を使用できるようになります。

- ANF(オートノッチフィルター)機能
- NR(ノイズリダクション)機能

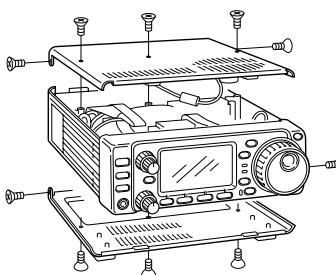
ご 注 意

このユニットを取り付けるときは、必ずIC-706MKIIシリーズの電源を切り、DC電源コードや他の接続コードをはずしてから行ってください。

取り付け方法

- ① 上下カバーを取り付けている10本のネジをはずします。
このとき、上カバーのスピーカー接続コードをはずします。
- ② PLLユニットからの接続コネクタP1(4pin)をMAINユニットのJ12からはずし、UT-106のJ1に接続します。
- ③ UT-106からの接続コネクタP1(4pin)をMAINユニットのJ12に接続します。
- ④ 付属のフラットケーブルをUT-106のJ3、PLLユニットのJ3にそれぞれ接続します。『電極(接点側)の向きに注意して接続します。』
- ⑤ 付属のマジックテープの薄紙をはがし、UT-106の裏側、PLLユニットにそれぞれ貼り付け、PLLユニットに固定します。
- ⑥ 上カバーのスピーカー接続コードを接続し、上下カバーを元どおり取り付けます。

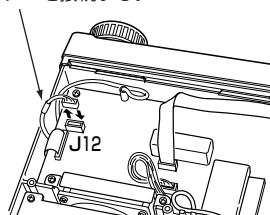
•上下カバーのはずしかた



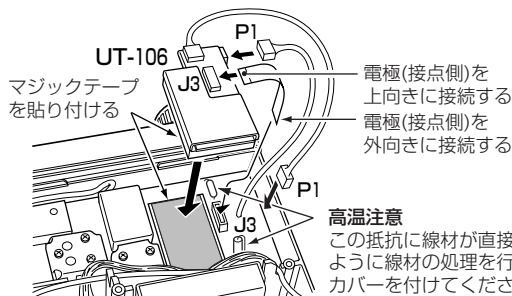
※上カバーをはずすときは、スピーカー接続コードを切らないように注意してください。

•UT-106の取り付けかた

PLLユニットの接続コネクタをはずし、UT-106からの接続コネクタを接続する。



MAINユニット



PLLユニット

注.付属のソフトケースは、IC-706MKIIシリーズでは使用しません。

操作 方 法

1. ANF(オートノッチフィルター)機能

SSB、FM、AMモードの受信中、音声信号にビート信号やCWまたはRTTY信号による混信を受けると、自動的に判別して混信信号を減衰します。

- ① [DISPLAY]を短く押し、サブメニュー(S1~S4)表示にします。
- ② [MENU]を短く押し、S4(D. S. P.)メニューを選択します。
- ③ [F-1](ANF)を押すごとに、DSPのANF機能を“ON/OFF”します。
“ON”のときは、ディスプレイにDSP[ANF]表示が点灯します。

2. NR(ノイズリダクション)機能

受信したアナログ信号をデジタル処理し、ノイズ成分と信号成分を分離して信号成分だけを取り出します。

(各種のノイズに効果を発揮します。(全てのモードで動作します。))

- ① [DISPLAY]を短く押し、サブメニュー(S1~S4)表示にします。
- ② [MENU]を短く押し、S4(D. S. P.)メニューを選択します。
- ③ [F-2](NR)を押すごとに、DSPのNR機能を“ON/OFF”します。
“ON”のときは、ディスプレイにDSP[NR]表示が点灯します。
- ④ [F-3](NRL)を押すごとに、ノイズ除去レベル(LEVEL“0~15”)を表示または未表示に切り替えます。

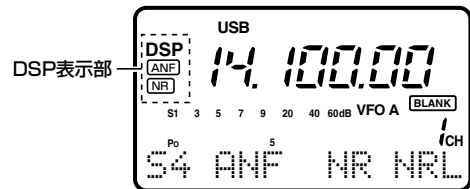
ノイズ除去レベルを表示しているときに、[M-CH]ツマミを回してノイズが最も減衰し、受信信号がひずまないように調整します。

注.NR機能“OFF”時、[F-3](NRL)を押してノイズ除去レベル設定すると、NR機能が“ON”(DSP[NR]表示が点灯)となりますが、この状態は記憶されず、次に電源を入れるとNR機能は“OFF”となります。

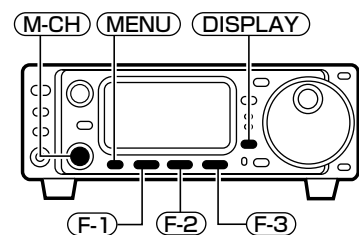
なお、ノイズ除去レベル設定値と[F-2](NR)で“ON/OFF”した状態は記憶しています。

※サブメニューの“S4”は、UT-106装着時のみ表示されます。

•DSP機能動作時の表示



•ノイズ除去レベル設定時の表示



■IC-PCR1000

はじめに

UT-106はDSP(Digital Signal Processor)によるデジタル信号処理により、受信時のノイズ・混信除去などに威力を発揮します。DSPユニットを装着すると、次の機能を使用できるようになります。

- ANF(オートノッチフィルター)機能
- NR(ノイズリダクション)機能

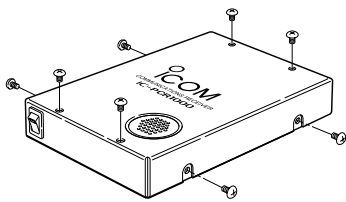
ご 注 意

このユニットを取り付けるときは、必ずIC-PCR1000の電源を切り、DC電源コードや他の接続コードをはずしてから行ってください。

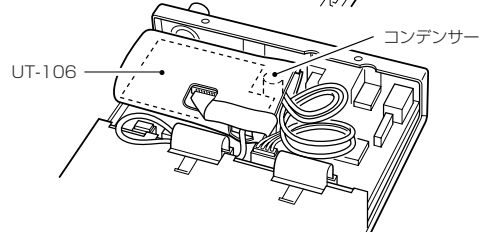
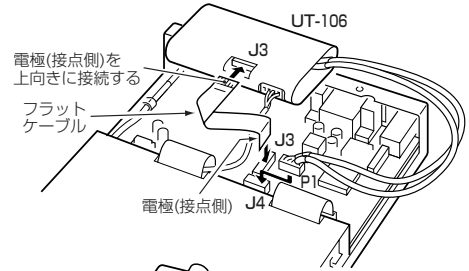
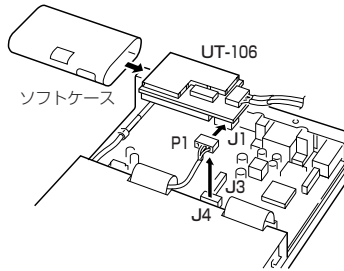
取り付け方法

- ①カバーを取り付けている8本のネジをはずします。
- ②付属のソフトケースをUT-106に取り付けます。
- ③LOGICユニットのJ4に接続しているコネクターP1(4pin)をはずし、UT-106のJ1に接続します。
- ④UT-106からの接続コネクターP1(4pin)をLOGICユニットのJ4に接続します。
- ⑤付属のフラットケーブルをUT-106のJ3、LOGICユニットのJ3にそれぞれ接続します。
『電極(接点側)の向きを確認して接続します。』
- ⑥UT-106ユニットをコンデンサーの上に重ねないようにセットし、カバーを元どおり取り付けます。

●カバーのはずしかた



●UT-106の取り付けかた



注. 付属のマジックテープは、IC-PCR1000では使用しません。

操 作 方 法

1. Automatic Notch-Filter (ANF) 機能

SSB、FM、AMモードの受信中、音声信号にビート信号やCWまたはRTTY信号による混信を受けると、自動的に判別して混信信号を減衰します。

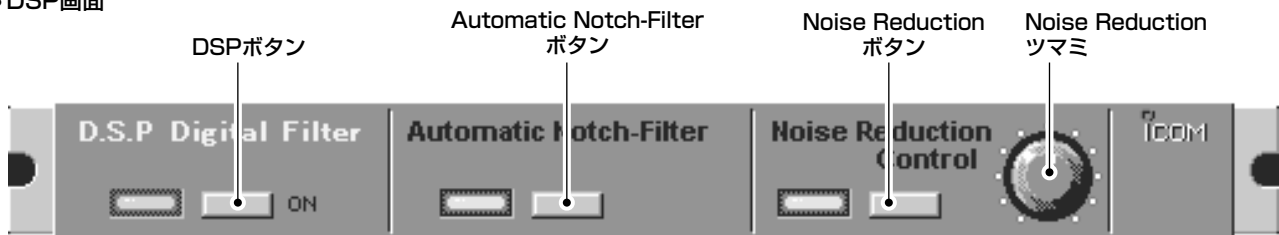
- ①ツールバーの をクリックし、DSP画面を表示します。
- ②[**DSP**] ボタンをクリックして、DSP機能を“ON”(表示ランプ点灯)にします。再度クリックすると“OFF”になります。
- ③[**Automatic Notch-Filter**] ボタンをクリックすることにより、DSPのANF機能を“ON/OFF”します。
“ON”のときは、表示ランプが点灯します。

2. Noise Reduction(NR)機能

受信したアナログ信号をデジタル処理し、ノイズ成分と信号成分を分離して信号成分だけを取り出します。

- 各種のノイズに効果を発揮します。(全てのモードで動作します。)
- ①ツールバーの をクリックし、DSP画面を表示します。
 - ②[**DSP**] ボタンをクリックして、DSP機能を“ON”(表示ランプ点灯)にします。再度クリックすると“OFF”になります。
 - ③[**Noise Reduction**] ボタンをクリックすることにより、DSPのNR機能を“ON/OFF”します。
“ON”のときは、表示ランプが点灯します。
 - ④NR機能“ON”時に、[**Noise Reduction**] ツマミをマウスの右ボタンでクリックするとノイズ除去レベルが高くなり、左ボタンでクリックするとノイズ除去レベルが低くなります。
ノイズが最も減衰し、受信信号がひずまないように調整します。

●DSP画面



アイコム株式会社

本 社 547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32
 北海道営業所 060-0041 札幌市中央区大通東9-14 TEL 011-251-3888
 仙台営業所 983-0857 仙台市宮城野区東十番丁54-1 TEL 022-298-6211
 東京営業所 130-0021 東京都墨田区緑1-22-14 TEL 03-5600-0331
 名古屋営業所 468-0066 名古屋市天白区元八事3-249 TEL 052-832-2525

大阪営業所 547-0004 大阪市平野区加美鞍作1-6-19 TEL 06-6793-0331
 広島営業所 733-0842 広島市西区井口3-1-1 TEL 082-501-4321
 四国営業所 760-0071 高松市藤塚町3-19-43 TEL 087-835-3723
 九州営業所 815-0032 福岡市南区塩原4-5-48 TEL 092-541-0211

高品質がテーマです。